

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、研究機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	膀胱癌浸潤部の病理学的解析
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 病理学 助教 星大輔
研究参加拒否 申込受付期間	2025年02月28日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、研究終了のため除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までをお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2026 年 03 月 31 日
対象者	2020年12月～2023年12月までの間に、当院で浸潤を伴う膀胱癌に対して経尿道的治療や手術治療を受けられた方。
当該研究の意義・ 目的	今回の研究は、膀胱癌の浸潤端で老化マーカー・増殖マーカーが発現しているか否かを調べ、膀胱癌細胞が浸潤時にどのような状態であるかを理解することで、今後の基礎研究や治療法開発に繋げることです。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	病理診断は、採取された検体をパラフィンに埋め込んでブロックとし、これを薄く切ったもの（薄切標本）に種々の染色等を行い、観察することで行われます。このパラフィンプロックは診断終了後も病院病理部で保管されています。本研究では、病理診断が終了した後に残っているパラフィンプロックから新規に薄切標本を得て、複数のタンパク質等を標的にした染色を行います。これによって、膀胱癌が進展していく際にどのようなタンパク質が必要かを調べ、膀胱癌の進展を防ぐ方法を検討します。この際、得られた標本を電子化することで、量的な関係も詳細に検討します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 この研究では標本の区別のために、病理検体番号を取得します。 使用後のパラフィンプロックは、病院病理部に返却します。研究のために新規に作成した標本は、学内の規定に従って研究結果の発表後5年間保管した後、廃棄します。電子データも学内の規定に従って研究結果の発表後10年間保管した後、削除します。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研 究対象者等の求め に応じて、研究対	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。 この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さら

象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	に研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
二次利用について	この研究で集められたデータは将来他の研究などに使われる可能性があります、その場合でも研究について倫理審査委員会の審査を受け、学長等の許可を得た後、使用することをホームページにて告知させていただいたうえで使用させていただきます。金沢医科大学で実施されている研究については、下記のホームページより確認することが出来ます。 実施中の臨床研究https://www.kanazawa-med.ac.jp/~tiken/patient/clinical.html 
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 病理学 助教 星大輔 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211 内線（68285）

作成日： 2025 年 02 月 28 日